伊勢湾台風写真台帳

写真名称：	長島町松蔭地先の木曽川右岸堤防河口付近を下流側から望む
エ リ ア：	三重県
撮影箇所：	長島町
撮 影 日：	1959 年
撮 影 者：	旧建設省
資料提供者：	木曽川下流河川事務所
状　　況：	ー

撮影位置

※国土地理院発行地形図を使用

現地状況、コメント等

伊勢湾台風被災後に、被災状況を把握するために踏査したときのものとされている。
木曽川右岸 0k～0.1 附近(松蔭)、裏法面の崩壊の状況　波浪洗堀とされている。
踏査時の調査表には以下のように整理されている。
＜10 月 13 日　災害状況調査表＞
●堤防の様子／嵩上げ堤か：嵩上げ堤、旧堤部はどうか：健在、法線方向：北北西、道路を兼用しているか：兼用、土質：砂質土、水防状況：不明
●溢流しているか、その時刻、溢流の様子、溢流深(波立)、波の来た方向：不明
●木の傾いている方向：北北東、何度位(地面に対し)：80°～85°、樹種：マツ
●木の倒れている方向：北北西、木の太さ：0.4～0.2m、樹種：マツ・まき
●木が折れていたか／折れた所(地面から)：3～10m、木の太さ：0.3～0.5m、樹種：マツ
●電柱が折れている方向：西北西、根入：1m、太さ：15cm 角鉄筋コンクリート、電線がついているか：ついていない
●電柱が折れていたか：西北西、折れた所：根元、太さ：15cm 角鉄筋コンクリート、電線がついているか：ついていない
●草がねていたか／その方向：北西、場所：表法肩、大きさ：1m
●灌木は残っているか：残っている、大きさ：1～2m
●堤内地の家の壊れ方／屋根：少しとんでいる、柱：やや傾斜している